

トルコ金融政策(2018年12月)

～トルコ中央銀行は政策金利を2会合連続で据え置き～

2018年12月14日

お伝えしたいポイント

- ・トルコ中央銀行は、市場予想通り政策金利の据え置きを決定
- ・経常収支の改善などを背景に、足元のトルコ・リラは堅調に推移
- ・米国の利上げ打ち止め観測は、新興国債券市場の追い風に

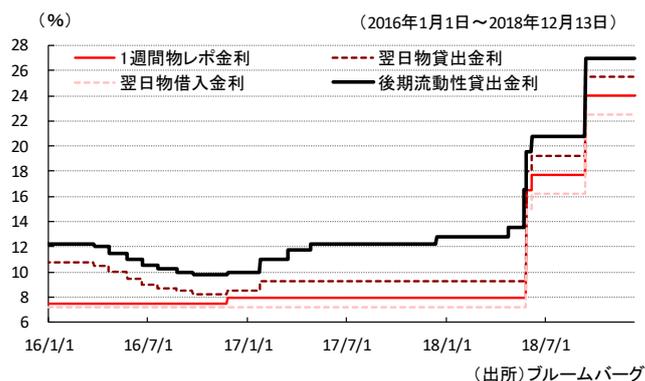
<トルコ中央銀行は、市場予想通り政策金利の据え置きを決定>

トルコ中央銀行は12月13日(現地)、政策金利(1週間物レポ金利)を24%に据え置くことを決定しました。政策金利据え置き決定は市場予想通りで、10月に続き2会合連続での据え置きとなりました。

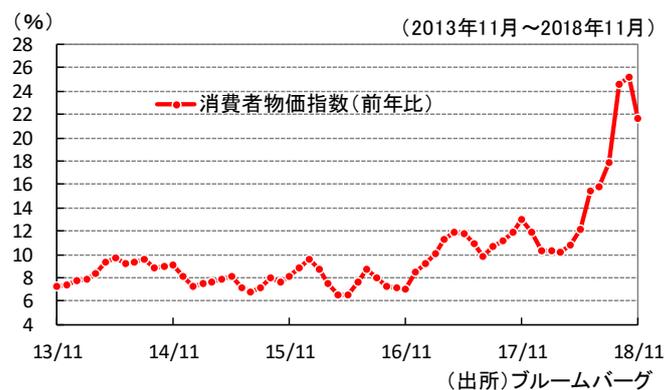
トルコ中央銀行は声明文で、インフレ見通しが改善するまで金融引き締め的な政策を維持するとともに、物価の安定のためにあらゆる政策手段を利用すると述べています。このスタンスは前回から変更ありませんが、前回の声明文と比較すると、トルコ中央銀行のインフレ見通しにやや楽観的なトーンが感じ取れます。

実際に、足元で発表されたインフレ率は市場予想を下回り、物価上昇に頭打ちの兆しが見られます。トルコ中央銀行は、今後のインフレ動向を見守るために政策金利の据え置きを決定したと考えられます。

《政策金利の推移》



《インフレ率の推移》



※後述の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。

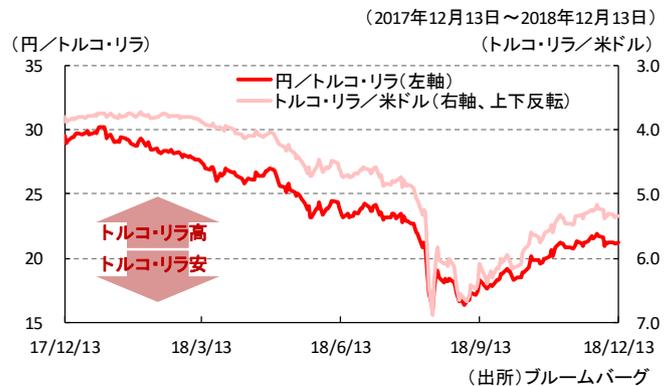
<経常収支の改善などを背景に、足元のトルコ・リラは堅調に推移>

トルコ・リラは8月に急落し、対円、対米ドルで最安値を更新しましたが、9月以降は堅調に推移しています。その要因として、米国との関係悪化懸念の後退や経常収支の改善が考えられます。

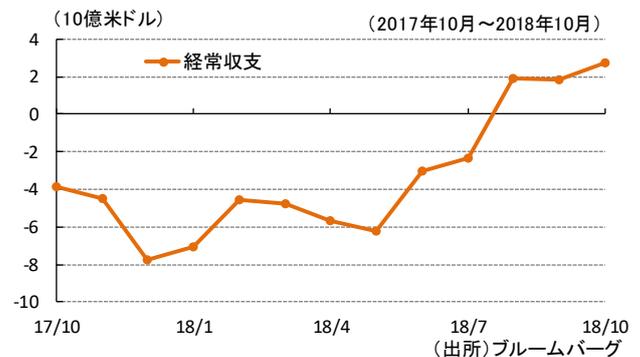
11月上旬、トルコと米国は互いの閣僚に課していた経済制裁を解除することを発表しました。これは、クーデター計画に関与したとの疑いで拘束されていた米国人牧師をトルコが解放したことを受けての措置とみられ、両国の関係が正常化に向かうとの期待がトルコ・リラ高の要因となりました。

また、8月の経常収支が黒字に転じて以降、トルコは月次の国際収支統計において経常黒字を維持しています。トルコ・リラの急落による輸入の減少や外国人観光客の増加が経常収支黒字化の背景にあると考えられます。さらに、10月以降、原油価格の下落が続いていることもさらなる経常収支の改善につながる事が期待され、トルコに対する市場心理が改善しているとみられます。

《為替の推移》



《経常収支の推移》



<米国の利上げ打ち止め観測は、新興国債券市場の追い風に>

米国の利上げ打ち止め観測は、トルコを含む新興国債券市場の追い風となりそうです。2015年以降、米国では断続的な利上げが実施されてきたものの、足元のFRB(米国連邦準備制度理事会)高官の発言からは中立金利を上回るまでの積極的な利上げ姿勢は見られません。2019年に入り米国の利上げ打ち止めが視野に入ってくると、これまで軟調に推移してきた新興国債券市場への資金流入が期待されます。

トルコ国内では、トルコ中央銀行が独立性を維持できるかに注目が集まります。足元で減速感が見られるとはいえ高インフレが続いているにもかかわらず、エルドアン大統領やアルバイラク財務大臣はこれまでと同様に金利の引き下げを望む姿勢を見せています。そのため、中央銀行の独立性には注意を払う必要があると考えます。

また、足元で経常収支は改善傾向にあるものの、今後もそれが続くかは不透明です。そのため、政府が対外ぜい弱性改善のための政策を打ち出すことができるかに注目です。

以上

※後述の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。

<ご参考> 当社の関連リサーチ

◇マーケットレター

- ・トルコ金融政策(2018年10月)～トルコ中央銀行は政策金利の据え置きを決定～(2018/10/26)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20181026_1.html
- ・トルコ金融政策(2018年9月)～トルコ中央銀行は市場予想を上回る大幅な利上げを決定～(2018/9/14)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180914_1.html
- ・トルコ中央銀行は利上げできるか(2018年9月)(2018/9/10)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180910_1.html
- ・トルコ・リラは史上最安値を更新(2018年8月)(2018/8/13)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180813_1.html
- ・トルコ金融政策(2018年7月)～トルコ中央銀行は市場予想に反し、政策金利を据え置き～(2018/7/25)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180725_1.html
- ・速報・トルコ選挙(2018年6月)～現職のエルドアン大統領が過半数を獲得し、再選へ～(2018/6/25)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180625_1.html
- ・トルコ金融政策(2018年6月)～トルコ中央銀行は通貨防衛のため利上げを実施～(2018/6/8)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180608_2.html
- ・トルコ中央銀行は通貨防衛のため緊急利上げに動く(2018年5月)(2018/5/24)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180524_2.html
- ・トルコ・リラは最安値を更新(2018年5月)～S&Pの格下げ以降、トルコ・リラは続落～(2018/5/8)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180508_1.html
- ・トルコ金融政策(2018年4月)～短期的には中央銀行の利上げによる通貨防衛姿勢がトルコ・リラを下支え～(2018/4/26)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180426_1.html
- ・トルコ・リラは一時最安値を更新(2018年4月)～目先は金融引き締め、長期的には経常赤字体質の改善が求められる～(2018/4/16)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180416_1.html
- ・ムーディーズによるトルコの格下げについて(2018/3/9)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180309_1.html

◇Weekly Report

- ・トルコの金融市場動向(毎週更新)
<http://www.daiwa-am.co.jp/market/weeklyreport.php?type=7>

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>